

菊地副士長が  
全国消防救助技術大会で入賞



町消防本部の菊地航平副士長が、7月20日に宮城県で行われた「東北地区支部消防救助技術指導会・水上の部」に秋田県代表として出場し、水中の行方不明者の捜索を想定した「複合検索」の種目で第3位の成績を収めました。

8月26日には、東京都で開催された「全国消防救助技術大会」へ出場し、同種目で16位入賞となりました。

菊地副士長は、「町民の皆さまから頼られる消防職員になれるよう、今後も精いっぱい努力していきたい」と話していました。



「強く、早く、絶え間なく」を意識しながら、胸骨圧迫(心臓マッサージ)による救命処置を学びました。



五城目消防署の署員と町の女性消防団員の方々が、それぞれの班で生徒たちへ細かな指導やアドバイスを行いました。



# 繋げる命の連鎖

AEDを用いた救命処置などを実践し、命を救うための周囲との連携、技術・知識を身に付けました。

五城目一中全校生徒を対象に  
応急手当講習を実施

9月8日、町消防本部が取り組む「応急手当教育プロジェクト」の一環として、五城目第一中学校の全校生徒を対象に応急手当講習を実施しました。

応急手当教育プロジェクトは、町内の小中学生が「命の大切さ」について考えるきっかけを作るとともに、応急手当の重要性を根付かせ、救命率と居合わせた人(バイスタンダー)による CPR (心肺蘇生法) 実施率の向上につなげようと昨年度から取り組んでいるものです。

「助けたい時に、  
助ける側の人になるため」

学年ごとに時間を分けて実施した講習では、署員や応急手当普及員の資格を持つ町の女性消防団員の方々が指導役を務め、119番通報の仕方や心肺蘇生の方法、AED(自動体外式除細動器)の操作方法などを生徒たちへ指導。生徒たちは、班ごとに応急手当を実践しながら、いざというときに大切な命を救うための知識や技術を学びました。

講習の最後には、講師を務めた署員が「倒れている人がいたら、勇気を持って声を掛け、救命処置を行うことで救える命があります。今回学んだことを生かし、皆さんにはそのような場合に一步を踏み出せるような人になってほしいと思います。そして、私たちと協力しながら救命の連鎖を繋げましょう。」と、生徒たちへ呼び掛けました。

大切な命を救うため  
救命講習を受講しませんか

1人でも多くの方に応急手当に関する知識と技術を身に付けていただき、救命率の向上を目指そうと、町消防本部では、毎月第3日曜日に定期救命講習を実施しています。大切な人の命を救うために、あなたも受講してみませんか。講習の詳細や申し込みは町消防本部(☎852・2028)まで。

## インタビュー①/命を救う最前線で動く「救急救命士」



### 命を救うための救命リレー

突然の心停止は、世界中で主な死因のひとつです。尊い命を救うためには、現場に居合わせた皆さんによる心停止の早期認識と通報、そして、救急車が到着するまでの間の応急手当が非常に重要となります。皆さんは、この講習を通じて「命の大切さ」を考えるとともに、誰かの心臓が突然止

五城目消防署 指導救命士 舘岡 雅志さん

まったら「救命のために何をすればいいか」「自分たちにもできること」を学びました。突然、目の前で人が倒れても勇気をもって行動してください。皆さんは、命を救うための救命リレーの第1走者です。そして、私たち救急隊へ命を救うためのバトンを繋いでください。

## インタビュー②/応急手当講習に参加して



原田 □□さん  
五城目一中3年

### 自ら進んで行動したい

自ら積極的に助けようとする意識が大切だと感じました。倒れている人がいた時は、今回習ったことを思い出しながら冷静に対応をし、周囲の方々と協力しながら、命を救うための行動に努めたいです。



大塚 □□さん  
五城目一中3年

### 繋げる命に手をのばす

今回の講習を通じて、救命処置の重要性や現場でとるべき行動を学ぶことができ、私たちの手はすでに命を繋げるものになっています。「命を繋ぐ」この手を、決して無駄にはしてはいけないと感じました。